

平成 30 年度 県立石岡第二高等学校学校関係者評価表

評価項目	評価	評価者からの意見等
1. 本年度重点目標の達成状況についての自己評価は妥当か	㊤ 妥当である B おおむね妥当である C あまり妥当でない D 妥当でない	- 重点目標を達成するための具体的施策が適正であり評価も妥当である。 - わかる授業・充実した授業を目指して、様々な取り組みをし、生徒たちの個性や適性を知って、一人一人の課題を支援しながら学ばせている。 - 妥当だが、部活動への取り組み方には不満がある。
2. 学校の具体的目標及び具体的方策の達成状況についての自己評価は妥当か	㊤ 妥当である B おおむね妥当である C あまり妥当でない D 妥当でない	- 具体的目標と具体的方策が正しく連鎖しており評価も妥当である。 - 今やっていることを信じ、前向きに目標を達成してほしい。 - 基本となる習慣やモラルは育ちながら習得してくるはず。私たちがその姿で示さねばならない。
3. 学校は次年度への主な課題を把握しているか	㊤ 十分把握している B おおむね把握している C あまり把握していない D 把握していない	- 評価を生かし課題解決に向けた方策が明確となっている。 - 把握していると思うが、それで終わりではなく少しでも課題がクリアできることを期待する。 - 今学習していることが、将来、自立した社会人となる手段である。
4. 学校の改善方策への対応は適切か	㊤ 適切である B おおむね適切である C あまり適切でない D 適切でない	- 各部毎に具体的方策を確実に実践しながら重点目標達成に向け適切に対応している。 - ボランティアや体験活動に進んで参加することは、目から情報が動機になっているのだろうが、読書も勧めたいと思う。
5. 学校の活動が地域社会と連携しているか。指標として、学校の活動が地域住民に知られているか。	㊤ 適切である B 概ね適切である C あまり適切でない D 適切でない	- 生徒の活躍を積極的に広報したり、HPによる情報発信を充実したり、石岡二高の良さを地域住民や中学校に広く伝えている。「ふるさと石岡映像コンテスト」奨励賞は見事。 - 中学生の体験入学で9割の方が満足しているが、他の一割を参考にしたい。

※ 「学校関係者評価」は、学校の自己評価結果をふまえて行うこととします。学校関係者評価における評価者とは、各学校の生徒の保護者や、各学校の教職員を除いた学校と直接の関係のある者及び大学教員等の学校と直接の関係を有しない有識者とし、学校評議員も評価者に含まれます。